

2012年十勝ロードレース選手権シリーズ 2012年十勝オープンロードレース

カテゴリー別 付帯規則書

ST600
Open
Street1000
Street250
Enjoy250
Sunday(Enjoy)

●主催 十勝スピードウェイクラブ(TOSC)

付則2 ST600クラス特別規定

国内競技規則第3章付則9「ST600の仕様」に順ずる。

①但し、ST600の仕様内 7-5-6「買い取り制度」は適応しない。

②使用できるタイヤは下記の「ST600指定タイヤ」とする。

銘柄	ドライ/ウェット	パターン名
ダンロップ	ドライ用	フロント SPOTMAX GP Unbeaten-02
		リア SPOTMAX GP Unbeaten-02
	ウェット用	フロント KR189
		リア KR401B
ブリヂストン	ドライ用	フロント BATTLAX RACING R10F
		リア BATTLAX RACING R10R
	ウェット用	フロント ME05Z
		リア E08Z
ミシュラン	ドライ用	フロント&リア Power One
		フロント P12325
	ウェット用	リア P18435A
ピレリ	ドライ用	フロント&リア DIABLO SUPERCORSA
		DIABLO RAIN
	ウェット用	
コンチネンタル	ドライ用	フロント&リア RaceAttack Comp.
	ウェット用	

なおST600指定タイヤは、新製品登場により旧タイヤの使用期限があるので事前に確認してください

③エンジン二次カバーを装着すること。

★MFJ国内競技規則 ST600技術仕様 7-3-13参照

付則3 OPEN クラス 特別規定 【車両規定】

1. 一般生産車両を基本に、レース出場のために行わなければならない変更

(1) 取り外さなければならない部品

①ライト/ウインカー/リフレクター

但し、車両が公道仕様になっている場合は、ライト/リフレクターの装備に限り取り外さなくてもよい。但し、車検を受ける前にライト/リフレクターの全面をテープング処置し、飛散防止対策を施すこと。

②バックミラー

③ナンバープレート/ナンバープレートブラケット

④セーフティバー/センタースタンド/サイドスタンド

⑤同乗者用フットレスト/グラブレール

⑥その他、車検時に安全上取り外しを指示された部品

(2) 下記の各項目に適合していないときは、**改造・変更が義務付けられる。**
特にガソリン/オイル等をコースに撒き散らすことは事故誘発原因になるので、そのための対策を主眼とする

①アクセルは手で握っていないときは自動的に閉じるようになっていること。

②キルスイッチは、ハンドルを握ったまま操作できる位置に取付けること

③オイルキャッチタンク

すべての車両は、オイルブリーザーラインをオイルキャッチタンクに連結されていなければならない。最低容量は500ccとし高温に耐えうる材質で転倒時に脱落やオイル流出するような構造であってはならない。

④オイルドレインプラグおよび供給パイプ

エンジンのオイルドレインボルトは確実に固定され、ドリルで穴を開け、ワイヤーで所定の位置に固定しなければならない。オイルパンに進入する外部オイルフィルターのスクリーやボルトは、**安全にワイヤーロックされていなければならない。**

⑤燃料タンクブリーザーパイプがついている車両は、ノンリターンバルブを燃料タンクブリーザーパイプに取付けなくてはならない。これは、適切な材質でできた最低容量250ccのキャッチタンクに放出されるようになっていないと

⑥燃料タンクフィラーキャップおよびオイルフィラーキャップは閉じた状態で漏れないようになっていなくてはならない。さらに、これらはいかなる場合においても誤って開くことのないように完全にロックされていなくてはならない。

⑦ラジエーターオーバーフローパイプがついている車両は、最低容量250cc以上のキャッチタンクを取付けなくてはならない。

(3) その他

①クローズドブリーザーシステム

すべての車両はクローズドブリーザーシステムにする。すなわち、オイルブリーザーラインはオイルキャッチタンクに連結され、これに排出する構造となっていること(図A参照)。

②カウリング下部のオイル受け

エンジンの破損または故障時に、そのエンジンに使用されるエンジンオイル、およびエンジンクランク総量の最低半分(最低5L)を保持できる構造になっていなくてはならない。カウリング下部の端部は、一番低いところから最低50mmの高さにあること(図B参照)。

カウリング下部の内側には、オイルを吸収する難燃性の素材が貼られても良い。この規則を満足させるための最低限の外観変更が許可される。上記変更以外に、カウリングには何も追加できない。

カウリング下部には、直径25mmの孔を最高2つまで設けてもよい。この孔は、ドライコンディションの時には閉じなくてはならず、競技監督がウェットレース宣言したときにのみ開くことが出来る。

但し、ネイキッド車両の場合、この装着を強く推奨する。

③リヤスプロケットガードを取り付けること

④エンジン二次カバーの装着は、**全車両に義務とする**

転倒時に地面に接触する恐れのあるフェアリングに覆われていない、オイルを保持する全てのエンジンケースは、二次カバーを取り付けること。材質は樹脂製とし、フェアリングの延長によるカバーも認められる。なお、バイク年式などにより、二次カバーの装着が困難な場合は、事前に相談ください。

(4) ゼッケンプレート

①ゼッケンプレートは、フロントと両サイドの3ヶ所に取付けなければならない

②ゼッケンプレートの地色は白又は黄色で、文字は黒色とする。

③ゼッケンNo.は、No. 1～50の間で選択する

*但し特別な理由で上記以外の希望がある場合は、事前に事務局に申し出ること

2. その他の制限

(1) 参加車両の改造変更は、自由とする。また参加車両のフレーム打刻型式とエンジン打刻型式の変更も自由とする。

但し、危険及び迷惑を及ぼすような改造をしてはならない。

公式車検において、危険と判断された車両は出走出来ない

(2) 参加車両

市販レーサーを除く公道用一般市販車。(国内販売・国外販売)

(3) 排気量区分

排気量4ストローク501cc以上の車両

(4) 最低重量

最低重量は規定しない。(車両検査時、参考重量として測定する)

(5) 音量

①音量規則値は、JSB1000技術仕様(4)音量に順じ、

105dB/A以下とする

②レース終了後は3dB/Aの許容誤差が認められる

(6) ガソリン

仕様する燃料は無鉛ガソリンで、サーキット内で購入できるものを使用しなければならない。起爆剤、添加剤は使用してはならない

(7) タイヤ

タイヤ規定は特に設けない。レーシングスリックタイヤの使用できる。ウェット時はレーシングレインタイヤの使用ができる。

(8) MFJライセンス

当該年度有効なMFJライセンス(ロードレースフレッシュマン以上)を所持していることが義務付けられる。

TIS(国際モーターナショナルスピードウェイ)サーキットライセンス有無は問わない

付則4 Street1000／250／Sunday(Enjoy)

【車両規定】

1. 参加車両は、一般生産型車両を基本に、最小限の改造で参加できるイベントを目指します。ナンバーの有無は問いません。

排気量区分

◆Street1000クラス	4ストローク 500cc以上の一般市販車両
◆Street 250クラス	4ストローク 250ccの一般市販車両
◆SUNDAY(Enjoy)	2ストローク125cc 4ストローク250cc以上の車両

2. 一般生産車両を基本に、レース出場のために行わなければならない変更

(1)ライダー保護のため、取り外すことを基本とする

①ライト／ウインカー／リフレクター

但し、車両が公道仕様になっている場合は、ライト／リフレクターの装備に限り取り外さなくてもよい。但し、車検を受ける前にライト／リフレクターの全面をテーピング処置し、飛散防止対策を施すること。

②バックミラー

③ナンバープレート／ナンバープレートブラケット

④セーフティバー／センタースタンド／サイドスタンド

⑤同乗者用フットレスト／グラブレール

⑥取り外しが気でない場合、可動物、突起物は、ガムテープなどで固定・保護しておくこと

(2)車検時に、特にチェックするポイント。特にガソリン／オイル等をコースに撒き散らすことは事故誘発原因になるので、そのための対策を主眼とする

①クローズドブリーザーシステム

すべての車両はクローズドブリーザーシステムにする。(図A)

すなわちオイルブリーザーラインは、エアクリーナーボックス、又はオイルキャッチタンクに連結され、これに排出する構造となっていること。
なお、レーサー車両は、オイルキャッチタンクの装着を義務とする。

②ラジエターオーバーフローパイプ、燃料タンクブリーザーパイプが付いている車両は、最低容量500cc以上のキャッチタンクに連結する構造になっていること。また燃料タンクブリーザーパイプが付いている車両は、ノンリターンバルブも装着されていること。

●一般市販車両で、エンジン関連がノーマル車両であっても、ラジエター、燃料タンクからのパイプ類が大気開放(垂れ流し)状態のままでは非常に危険なので、キャッチタンクなどに接続し、漏れないようにしておくこと。
但し、エアクリーナーBOXに全てのパイプ類が接続され、外に漏れないようになっている場合は、新たにキャッチタンクを装着する必要はありません

③リヤスプロケットガードを取付けること。

④オイルドレンプラグおよび供給パイプ

エンジンの オイルドレンボルトは確実に固定され、ドリルで穴を開け、ワイヤーで所定の位置に固定しなければならない。オイルパンに進入する外部 オイルフィルターのスクリューやボルトは、安全にワイヤーロックされていなければならない。

(3)その他

参加車両の改造変更は、危険及び周囲に迷惑を及ぼすような改造をしないことを前提に自由とする。但しレース時公式車検において、危険と判断された車両は、出走出来ない。特に、クローズドブリーザーシステム、ワイヤーロックは重点項目とする。
またこの規定は参加状況をもつて変更する場合がある。

(4)フェアリング(カウル)

①エンジン二次カバーの装着は、Street1000 クラス、は義務付け

その他全車両に強く推奨する。

転倒時に地面に接触する恐れのある フェアリングに覆われていない、オイルを保持する全てのエンジンケースは、二次カバーを取り付けること。材質は樹脂製とし、フェアリングの延長によるカバーも認められる
★車両の年式などにより、装着できない場合は、事前に相談ください

②カウリング下部のオイル受け Street1000 /250クラスは義務付け、その他クラスは強く推奨

エンジンの破損または故障時に、そのエンジンに使用されるエンジンオイル、およびエンジンクランク総量の最低半分(最低5L)を保持できる構造になっていくてはならない。カウリング下部の端部は、一番低いところから最低50mmの高さにあること(図B参照)。カウリング下部の内側には、オイルを吸収する難燃性の素材が貼られても良い。この規則を満足させるための最低限の外観変更が許可される。上記変更以外に、カウリングには何も追加できない。カウリング下部には、直径25mmの孔を最高2つまで設けてもよい。この孔は、ドライコンディションの時には閉じなくてはならず、競技監督がウエットレース宣言したときのみ開くことが出来る。
★車両の年式などにより、装着できない場合は、事前に相談ください

(5)ゼッケン&ゼッケンプレート

- ①ゼッケンは、フロントと両サイドの3ヶ所に取付けなければならない
- ②ゼッケンは【数字は黒、ベースは白】で、ベースの大きさは【タテ23cm×ヨコ28cm】を基準とし、数字は天地15cm以上の太く、大きく、見やすいものとする
- ③バイクの構造上ベースの大きさを維持できない場合は、別途ゼッケンプレートを作成し固定するか、可能な最大限のベースを使用すること。あくまでも数字の大きさ、太さ、見やすさを優先する。

④ゼッケンは以下の中から選択する

Street1000クラス: No51～No99

Street250、Sunday: No1～No99

3. その他

(1)最低重量(Street1000のみ)

500cc以下 規定なし

750cc以下 160Kg以上

751cc以上 165Kg以上

*車両重量は、レース後再車検時の車体重量とする

(2)音量

最大値 105dB/A以下とするが危険及び周囲に迷惑を及ぼすような改造をしてはならない。

(3)ガソリン

使用する燃料は無鉛ガソリンで、一般ガソリンスタンドで購入できるものを使用すること。起爆剤/添加剤は使用できない

(4)タイヤ

⇒Street1000/Sunday(Enjoy250含む)クラス

一般市販されている通常ルードで購入できる一般市販タイヤのみ使用可能(スリックは使用できない) ウエット時はレーシンググレンタイヤの使用を認める

⇒ Street250クラス(DUNLOP Street250)

★Street250に関しては、特別ルールとして Dunlop製の一般市販タイヤのみ 使用可能とする。(Unbeaten01/02を除きます)

★★Street250に関して、使用するホイールに制限を設け、基本は車両の標準装着サイズとしますが、交換する場合は 最大リム幅 フロント3インチ リア4.5インチまでとします。(外形インチ規定は無し)(車両標準サイズがこれ以上の場合は、標準サイズに準じます)

【ライダー規定】

(1)ライダーの服装

- a) ヘルメットはフルフェイスで日本工業規格C種以上・第2種・USSNEL規格以上の物を使用すること。オフロード用は不可。
- b) ウェアは革ツナギ着用 裏側「左胸の前」には氏名と血液型を明記する
★ Sunday(Enjoy)レース出場者に限り、ウエスト部分が露出しないことを条件に、皮の上下着用でも可とする
- c) グローブは皮革製品の物
- d) ブーツは皮革製品で、くるぶしまで覆う物
- e) ヘルメットにキズがある物、ウェア・グローブ・ブーツの綻び破れている物の使用は、出走できない
- f) 脊椎パッドは、レーシングスーツに装着されていない場合、別体の脊椎パッド装着を義務とする。
* チェストガードは、安全のため装着義務付けとなっています
* 肘・膝パッド、レース用エアバックの装着を推奨する

g)安全のために ヘルメットリムーバー の装着を義務付ける

h)上記の条件を全て満たし公式車検時の検査に合格しなければならない。

(2)参加ライセンス

●MFJ ジュニア/フレッシュマン/国内 ライセンスを保持していること

- * 十勝スピードウェイサーキットライセンスは義務付けではありませんが、練習走行料金割引、施設入場料本人無料など年間4回以上来場する場合はお得です。
- * ジュニアライセンスは、Street250/Enjoy250 まで出場できる

(3) Sunday (Enjoy)レースの補足規定

●Sundayレース のクラス分けは以下のとおり

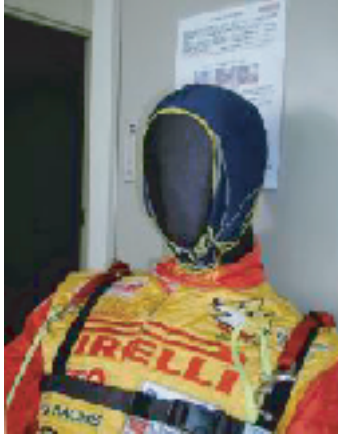
【Sunday (Enjoy)】

- ①95クラス … クラブマンコースベストラップ 1'35～1'39台で走行できる方のクラス
- ②100クラス… クラブマンコースベストラップ 1'40～1'44台で走行できる方のクラス
- ③105クラス… クラブマンコースベストラップ 1'45～1'49台で走行できる方のクラス
- ④110クラス… クラブマンコースベストラップ 1'50～ で走行できる方のクラス
*各クラスへのエントリーは、自己申告制となります
*予選&決勝を通じて、ベストラップが、クラス基準下限タイムより1秒以上速く走れた場合は、「ハッピーライダー」として、自動的にクラスアップいたします！

【Enjoy250】

Street250と混走で開催する Enjoy250は、4st/2st250cc以下の、一般市販車ベース車両対象で、タイヤは一般市販品であれば自由とする
雨天時はレーシングウエットタイヤの使用可能
但し、コスト削減のため、ホイール幅は車両標準サイズまで もしくはフロント5インチ リア4.5インチまでとする
GP125は走行不可

【ライダー用安全装備品】



ヘルメットリムーバー



脊髄パッド



チェストガード



エンジン2次カバー



ライダー用外付けエアパック